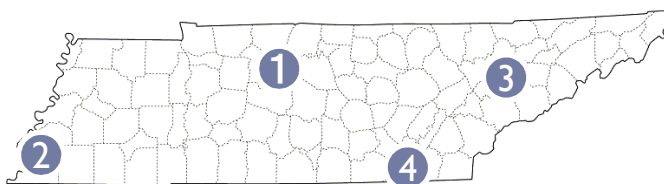


- 州都： ナッシュビル(Nashville) ○ 最大都市： メンフィス(Memphis)
- 人口： 6,600,299人(全米17位： US Census Bureau (2015))
- 面積： 109,247平方キロメートル／42,143平方マイル(全米36位)
- 略史： 1772年、米国の独立よりも4年早く、英国移住者を中心とする植民者が同州Wataugaにおいて独立の政府を樹立し、米国における最初の成文憲法として知られる“Articles of Watauga Association”を作成。1796年6月1日、16番目の州として合衆国に加盟。南北戦争等の際に義勇軍の編成が最も容易であった州と言われ、“Volunteer State”とも呼ばれる。州東部のノックスビルには全米有数の電力供給を誇るテネシー溪谷開発公社(TVA)の本部があり、またオークリッジには日本に投下された原子力爆弾の研究にも関与した国立研究所がある。

主要都市の人口



① 州都	ナッシュビル
	654,610
②	メンフィス
	655,770
③	ノックスビル
	185,291
④	チャタヌーガ
	176,220

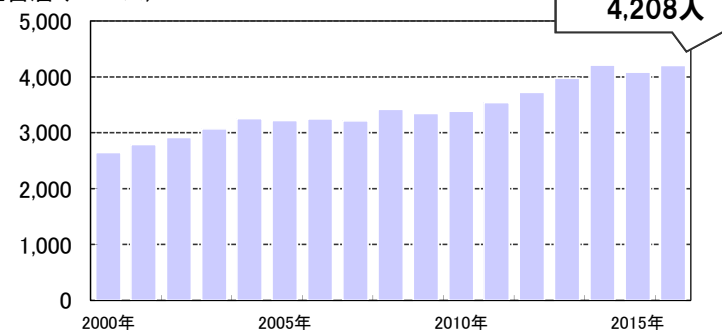
(出典： U.S. Census Bureau (2015))

人種・エスニシティ別人口構成

白人	74.4%
アフリカ系	17.1%
アジア系	1.8%
ヒスパニック系	5.2%

在留邦人数の推移

(在留届けベース)



駐日事務所

テネシー州政府日本事務所 (神奈川県横浜市)

<http://www.tennesseejapan.com/>

テネシー州は、ゴア元副大統領(民主党)や故ベーカー元連邦上院議員・元駐日米国大使(共和党)をはじめ、有力な政治家を多数輩出してきた。宗教色が強く、「バイブル・ベルト」とも呼ばれる南部一帯の中心地であるテネシー州では、保守派の有権者が多く、政党支持では州レベル、大統領選挙を含む連邦レベルのいずれにおいても、共和党優位の傾向が近年一層強まっている。

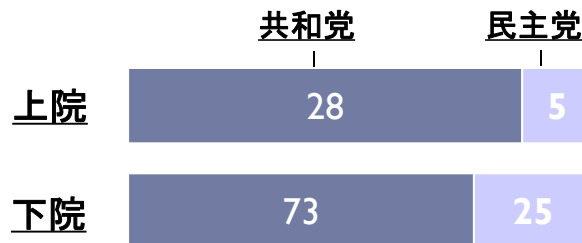
テネシー州政府

○ 州知事(任期4年)

ビル・ハズラム
(Bill Haslam)

共和党。1958年8月23日生まれ。実業家、ノックスビル市長を経て、2011年1月より現職。現在2期目。次回州知事選挙は2018年11月。

○ 州議会(2017年会期)(2017年2月末時点)



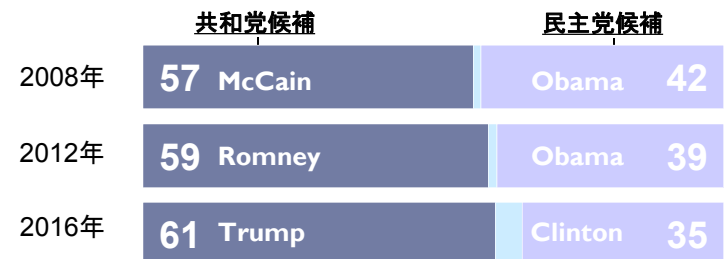
【注】下院に1名空席。

上院：定数33議席、任期4年
下院：定数99議席、任期2年

テネシー州選出連邦議員

連邦上院議員 (任期6年)	議員名	所属
	Lamar Alexander	共和党
	Bob Corker	共和党
連邦下院議員 (任期2年)	1区	Phil Roe 共和党
	2区	John J. Duncan, Jr. 共和党
	3区	Chuck Fleischmann 共和党
	4区	Scott DesJarlais 共和党
	5区	Jim Cooper 民主党
	6区	Diane Black 共和党
	7区	Marsha W. Blackburn 共和党
8区	David Kustoff (新) 共和党	
9区	Steve Cohen 民主党	

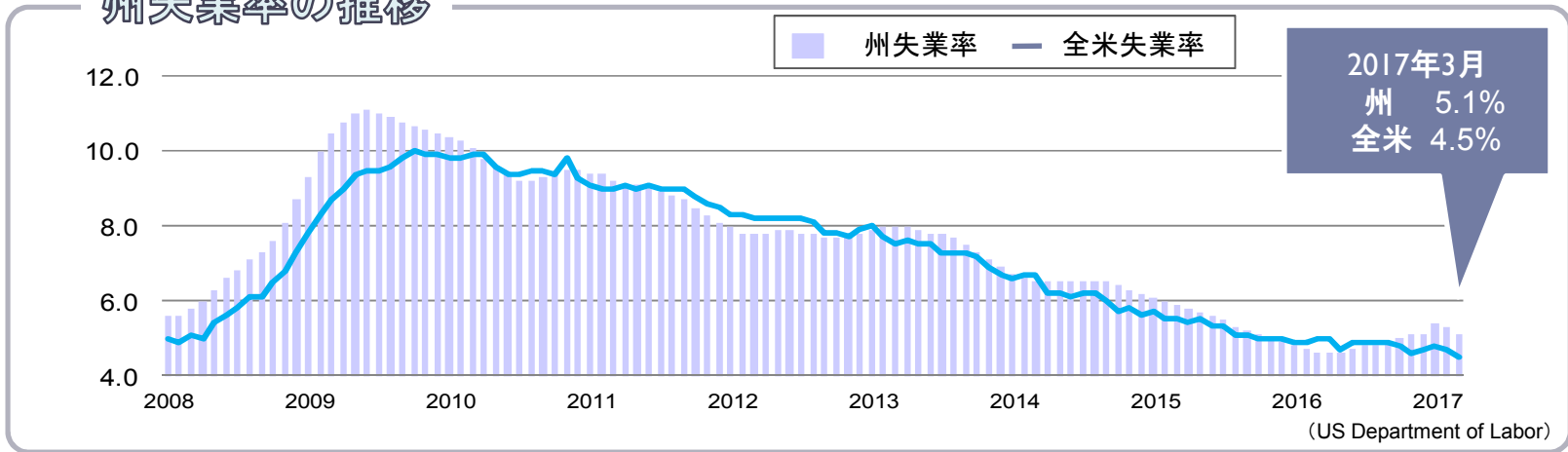
大統領選挙結果(テネシー州)



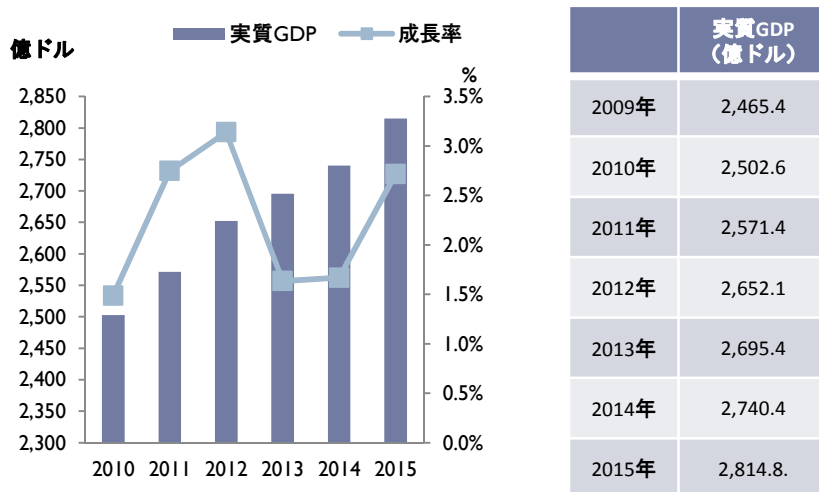
(出典：テネシー州務長官)

テネシー州は米国南東部の中心に位置し 8州と隣接していることから、全米約2/3の州に24時間以内にトラック輸送が可能で、自動車等の製造業が集積している。また、ナッシュビルやその他の地域にはHCA等のヘルスケア企業が集中し、関連企業と大学や研究所との共同開発が行われている。同州西部では、フェデックス(本社:メンフィス)が物流の拠点としており、東京への直行貨物便もある。州の経済情勢が回復する中、ハズラム州知事は、長期的な州の経済成長を達成すべく、教育政策に力を注ぎ、企業が求める質の高い人材の育成を目指している。

州失業率の推移

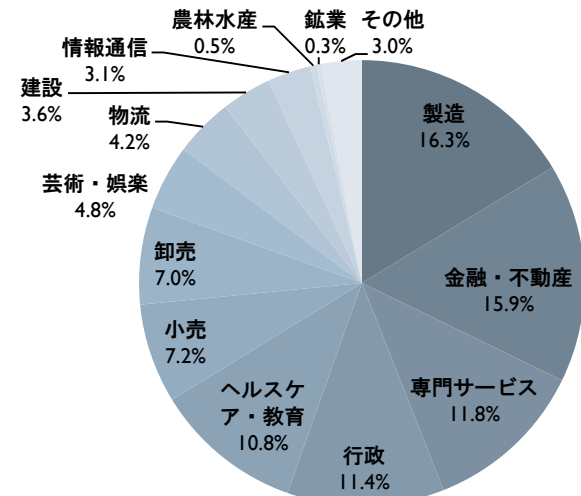


州GDP及び経済成長率



(Bureau of Economic Analysis, US Department of Commerce)

産業別州GDP構成比(2015年)

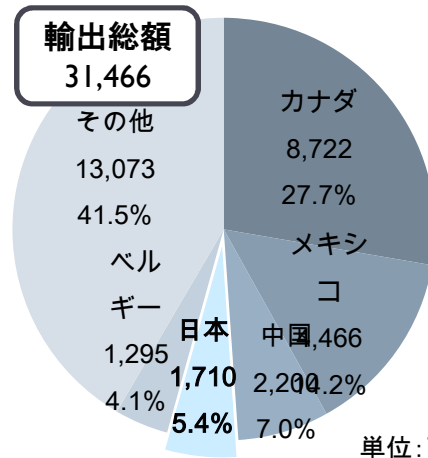


(Bureau of Economic Analysis, US Department of Commerce)

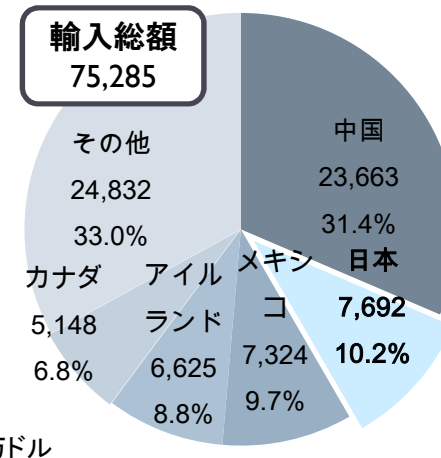
貿易

- テネシー州の対外貿易は、カナダ、メキシコ、中国、日本などの貿易が盛ん。日本は輸出で第4位、輸入で第2位の貿易相手国。
- 主な対世界輸出品目は自動車・部品、医療関連、コンピューター・電子機器など、輸入品目は医療関連、コンピューター・電子機器、自動車部品など。
- 主な対日輸出品目は医療機器、自動車部品、コンピューター・電子機器など、輸入品目は自動車・部品、コンピューター・電子機器、機械類など。

輸出 (2016年)



輸入 (2016年)

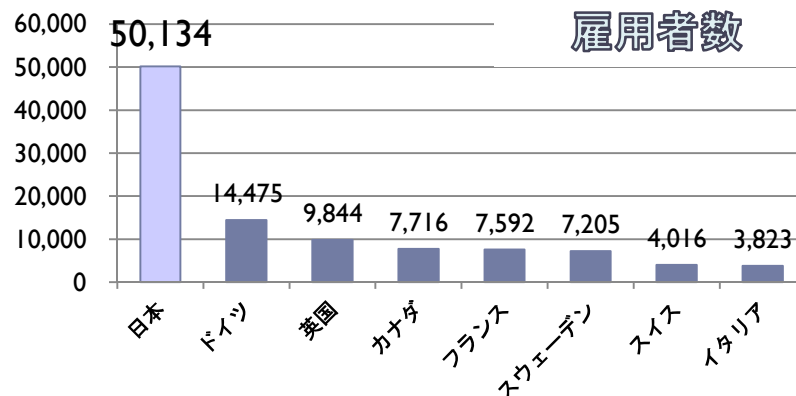
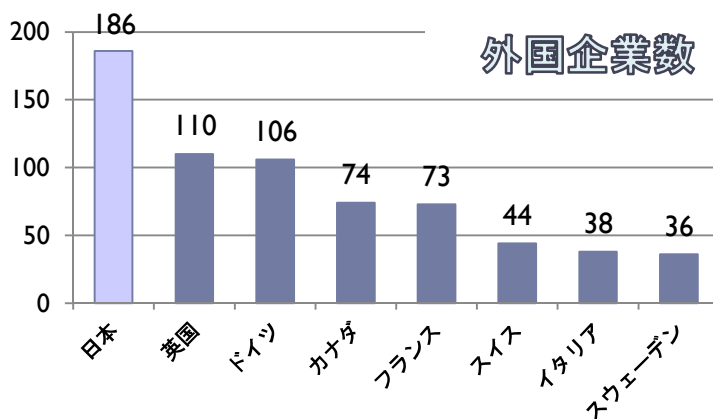


単位: 百万ドル

(出典: ITA, US Department of Commerce)

外国からの投資

- テネシー州内で活動している日系企業は約190社(2016年。当館調べ)で、州内に進出している外国企業数は日本が最多。次いで英国、ドイツ、カナダ、フランスなど。
- 日系企業による雇用者数は5万人を超えており、外国企業による雇用数では第1位(テネシー州発表)。
- テネシー州内では、日産やブリヂストンが北米本社と製造拠点を置くとともに、デンソー、カルソニック、ヨロズなど多くの自動車関連企業のほか、コマツ(建設機械)やヤマハ(プレジャーボート)など、製造業の進出が多い。



(出典: Tennessee ECD, Aug. 2017)